

第10回 鷗朋会総会が開催されました



2016年4月29日(金)に、総会が開催されました。今回の総会は、2015年度決算報告・2016年度事業計画報告に加えて、会費前納や理事会決議事項の効力に関する会則の変更を主題として開催されました。また、今後の鷗朋会関係の情報を伝達するためにメールを活用していくこととなりますが、まずは会員にどれだけメールが浸透しているか現状把握を行った結果が報告されました。審議事項に対する決議結果を以下にまとめます。

審議事項1：正会員に関する会則変更について

正会員に「海洋システム工学課程」の追加が提案され、承認された。

審議事項2：会費前納に関する細則について

現在までに前納された会費は預かり金として会計処理しているが、会費前納に関する規則が制定されていない。そこで、以下に示す「会費前納に関する細則」を提案し、承認された。

第一条 「鷗朋会会則」第13条に示す会費には、複数年の前納を認める。

第二条 一旦前納された会費は、如何なる理由に係わらず返還を認めない。

第三条 会費金額変更の際、会費前納者への差額金額調整は行わない。

第四条 会費前納者が物故者になった場合、会費前納残金は「鷗朋会」への寄付金とする。

第五条 本細則は、細則施行前に前納された会費についても適用する。

この細則は、総会の承認があった日(2016年4月29日)から施行する。

審議事項3：理事会決議事項の効力に関する細則について

前述の細則を制定した場合を考えると、理事会承認後に総会を招集して承認されなければ効力を有しないのが現状である。そこで、理事会の決議をもって、決議事項が効力を有することを明記した下記の細則を提案し、承認された。

第一条 「鷗朋会会則」第12条に示す、理事会の会務遂行に係わる事項は、理事会決議により、その効力を発す。

第二条 理事会決議事項の内、理事会が「鷗朋会」運営に係わる重要事項と判断した決議事項は、総会および「会誌」、「鷗朋」等で報告する。

この細則は、総会の承認があった日(2016年4月29日)から施行する。

総会終了後は、懇親会により会員相互の親睦と情報交換が、活発に楽しく執り行われました。

海洋システム工学課程 AO 入試のご案内

海洋システム工学課程では、H18 年度入試から AO 入試（自己推薦型入試）を行っております。この入試は、海洋に関連する工学に興味をもち、大学で学んだ学問を社会で生かしていく強い意欲がある学生を求めるもので、学力試験だけで能力を見る一般入試とは違い、体験演習や体験講義などを通して総合的・多面的に適性・意欲・情熱等を評価して選考する入試制度です。これまで、この入試制度で入学した卒業生は、様々な分野で活躍しております。しかしながら、大阪府立大学の中で AO 入試制度を続けているのは海洋システム工学課程だけであるため、志願者が減少すると本入試制度の継続が困難になる恐れが出てきています。

賜朋会会員の皆様には、ご家族・お知り合いの方々にこの入試制度をご紹介していただきたく、AO 入試のチラシを同封させていただきました。入試内容及び説明会の詳細はチラシをご覧ください。AO 入試に対して特別な準備は必要なく、海洋に関する工学への強い情熱と、最低限の基礎学力があれば受験することができます。受験機会の一つとしてご紹介していただければ幸いです。

海洋システム工学課程 AO 入試戦略担当 中谷

海洋へ行こう！



田中紀男先生(造船3期)のご逝去のお知らせ

編集委員長 三宅 成司郎 (大学30期)



田中 紀男先生 ご略歴

昭和 22 年 大阪工業専門学校 卒業
昭和 25 年 大阪大学工学部 卒業
昭和 25 年 浪速大学工学部 助手
昭和 33 年 大阪府立大学工学部 講師
昭和 33 年 大阪府立大学工学部 助教授
昭和 37 年 工学博士 (大阪大学)
昭和 42 年 大阪府立大学教授
平成 2 年 停年退職
平成 18 年 瑞宝中綬章 受章

去る平成 28 年 5 月 9 日(月)に、田中紀男名誉教授が逝去されました。生前のご指導・ご鞭撻に対して、ここに謹んでお悔やみ申し上げます。田中紀男先生は、ご自身の研究や学生への指導ばかりではなく、同窓会の発展にも情熱を持って尽力されました。最近では、高所大所の立場から、非常に厳しくはありましたが愛情のこもったご意見を頂戴することが多かったように思います。



大学 30 期生の卒論発表会時にて撮影
(昭和 57 年)

有馬正和先生・片山徹先生が、海洋システム工学分野教授に昇任されました



三宅 成司郎 (大学 30 期)

平成 28 年 4 月 1 日付けにて、有馬正和先生(大学 37 期)と片山徹先生(大学 41 期)が、海洋システム工学分野教授に昇任されました。両先生は、今までの研究の練度を引き続き深めて行かれるばかりでなく、今後は海洋システム工学分野の長の一人として、研究・教育体制を良き方向に導いて行かれることと思います。我々同窓生としましては、両先生に対して有形・無形を問わない惜しみない支援を行いたいと思います。

有馬正和教授、片山徹教授を含めた平成 28 年 4 月 1 日以降の海洋システム工学分野の体制は、以下に示すように 5 教授・5 准教授・2 助教となっています。以下に、各研究室の研究概要を示します。

<教授>

有馬正和、片山徹、馬場信弘、深沢塔一、山崎哲生

<准教授>

新井励、柴原正和、坪郷尚、中谷直樹、二瓶秦範

<助教>

岩井久典、山田智貴 以上、敬称略

平成 28 年 6 月 30 日現在にて記載

有馬研究室	安全、安心で快適な海上交通機関の実現を目指してヒューマン・ファクター（人間工学）に関する研究を行っています。また、複数機の自律型水中グライダーによる海洋生態系の長期間、広範囲に亘るモニタリングを目的とした海中ロボット工学の研究にも取り組んでいます。
片山研究室	排水量型船舶や海洋構造物の波浪中復原性および安全運行に関する研究、多胴型や滑走型などの特殊船型を含む高速船の自動危険回避システムなどの高機能・高知能化に関する研究、各種性能評価のための水槽試験法の開発に取り組んでいます。
馬場研究室	外洋から内湾まで海洋の生物学的な環境をマリンエコシステムとして捉え、これに関する現象の解明から工学的な環境創造までを目的とした研究を行っています。大気の流動や変動によって引き起こされる海洋の物理過程を中心に、これが生物的な環境に与える影響について、水槽実験とコンピュータを用いた計算によって現象を再現し、研究を進めています。
深沢研究室	波浪荷重や船体応答の非線形性、特にスラミングによるホイッピング振動を考慮した荒天時の船舶の動的構造応答解析など、構造物の挙動を流体外力との相互干渉という観点から研究しています。その他、光ファイバーを利用した圧力計の開発も行っています。
山崎研究室	世界トップの潜在的資源量を有する海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、メタンハイドレート等の深海底資源の開発を実現するための研究を行っています。これらの研究を海洋新産業の創生・振興に繋げるためには、環境調和型の開発手法や、競争力を有する特徴的な開発技術が必要です。また、海洋生態系への影響を事前に予測・評価することや経済性も重要です。これらを総合した未来を開拓する研究に力を入れています。
新井研究室	海域環境モニタリングや海洋資源開発に関する先端的センシング技術の開発および計測信号から有意な情報を抽出する情報処理アルゴリズムの開発を行っています。
柴原研究室	私たちの研究室では、船舶・海洋分野をはじめとする幅広い分野における設計・製造支援のための解析ツールの開発、およびそれらを各種製造分野に応用することを目標に研究を進めております。製造プロセスの中でも、特に、溶接や切断といった熱加工のシミュレーション技術の開発を中心に取り組んでおります。
坪郷研究室	実験が困難な大型船舶・大型浮体式海上空港などのシミュレーションに基づいた設計について研究を行っています。メガフロートは、埋め立てずに広大な面積がえられるため海上空港などへの利用が考えられており、波浪応答、揺れ、強度、係留など幅広い分野で研究を進める必要があります。
中谷研究室	持続可能な社会と海洋環境とのより良い関係の構築を目指し、それに関わる工学技術の開発を行っています。具体的には、海洋環境モニタリング手法、海洋環境シミュレーション技術、持続可能性評価手法、海洋環境利用技術などです。
二瓶研究室	海洋構造物・船舶を主テーマの研究室ですが、海洋構造物では洋上での風力発電、波浪発電、潮流発電に関する研究を集中的に行っています。安全で経済的な海の再生可能エネルギーの利用には未だ課題が多く、実海域試験から大型水槽試験、さらに数値計算も駆使し研究開発を行っています。

事務局からのお知らせ

🍀 2016年ホームカミングデーについて

ホームカミングデーが、今年も開催されます。ただし内容は昨年までとは異なり、記念講演はなく（会場のUホール白鷺が耐震工事中）パーティーのみです。場所は、生協食堂。飲食費の実費3,000円は参加者負担。昨年度までは校友会が負担しておりましたが、卒業生から「後輩が支払った会費で、上の世代が飲み食いするのはいかなものか。参加者負担にすればよい」との意見が多くあり、変更となりました。

なお、昨年同様、事前に要望を募り、単位同窓会各期のテーブル（ミニ同窓会）、卒業〇周年、クラブOB会などのテーブルを設ける予定です。当日、同窓会を企画される幹事の方は、校友会までご連絡下さい！

連絡先：大阪府立大学 校友会 事務局

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学内 TEL:072-254-8143（直通）又は072-259-9072（直通）TEL:072-252-1161（代表）FAX:072-254-9129 E-mail: office@opucr.osakafu-u.ac.jp

🍀 工学部同窓会よりクラス会援助のお知らせ

工学部同窓会から、2016年4月～2017年2月までに開催されたクラス会に援助金が支給されます。鷗朋会への援助金は1人あたり5,000円の最大10名分、50,000円です。多数のクラス会が開催され、総数10名を超えた場合は、参加人数で50,000円を均等に配分致します。支給は、3月になり、対象は申請があった方々のみです。詳細につきましては、工学部同窓会事務局まで、お問い合わせ下さい。

連絡先：大阪府立大学 工学部同窓会 事務局

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学内 TEL:072-254-7461（直通）FAX:072-254-7461 E-mail: kozuka@marine.osakafu-u.ac.jp

🍀 会費納入のお願い

平成28年度の会費納入をお願い致します。同封の振込用紙をご利用いただくか、りそな銀行、郵便振替口座にご送金下さい。なお、すでに会費を納入いただいている方には請求書を同封しておりません。御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

🍀 鷗朋会原稿募集中！！

テーマは自由です。是非、ご寄稿下さい。また、鷗朋に挿入するイラストや表紙絵あるいは投稿したい写真や絵画など自作品も募集しています。



■鷗朋会ニューズレター 第9号

発行日/2016年7月15日

鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付
<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~web01/ob/index.html>
E-mail: doso@marine.oasakafu-u.ac.jp
TEL/FAX : 072-254-7461